



①

自然やふれあいを楽しむ

獅子島 ウォーク 2020

2月2日に「獅子島ウォーク」が開催されました。今回は岡山県や種子島などから約600人が参加。獅子島の自然や島民とのふれあいを楽しみました。

今回も獅子島アイランドセンターを発着点とし、島内最高峰の七郎山(標高393.3m)を折り返す13kmのコースで行われました。参加者は島を挙げてのモチベーションを受けながら、山頂まで足を進めました。



②

この日、獅子島小中学校の児童生徒による太鼓の演奏がオープニングを飾り、須崎政次大会実行委員長が「山頂からの眺めは360度の大パノラマ。ぜひ自分の目で見て、感動を味わってほしい」と歓迎のあいさつをしました。当日は晴天で絶好のウォーキング日和。午前10時にスタート

しました。参加者は快い汗を流しながら、起伏の激しいコースを散策しました。色鮮やかに実った甘夏畑や天草の島々を見渡す山頂からの眺望などには、感嘆の声を上げ、リフレッシュしていました。ゴール後は、会場内で行われた抽選会や特産品販売がにぎわい、地元婦人会からのアオサ汁とおにぎりの振る舞いに参加者は舌鼓を打ちました。

天草市から参加した小学6年生の大中歩君は「坂道が疲れたけど、天気がよくて楽しめた。来年も参加したい」と満足げな表情を浮かべました。

①号砲とともに、元気にスタートを切る参加者
②疲れを感じさせず、歩みを進める
③思い思いのスピードで歩く道のそばには、たわわに実った甘夏
④ゴール後の抽選会で当たった特産品を手に、大満足の笑顔を見せる家族



④



③

絶景を楽しみに山頂を目指す参加者